

【生薬名】 木通 *AKEBIAE CAURIS*

【起源植物】 アケビ *Akebia quinata*



【科名】 アケビ科 *Lardizabalaceae*

【別名】 ネコノタメ (岡山)

【薬用部分】 木通・木化した蔓

木通子・未熟果実

【主成分】 木通・トリテルペン、K塩、サポニン、ステロール類

木通子・デンプン質以外は未詳

【薬性】 木通・気味は苦微寒、帰経は心肺小腸膀胱に属す

木通子・気味、帰経は不明

【効能】

《木通》 ●腎炎、膀胱炎、尿道炎、浮腫の利尿消炎に1日10~15gを煎服

●通経薬として月経不順、生理の滞り等に1日10~40gを煎服

●おできに外用する

《木通子》 ●未熟果実は催乳や通乳作用に10~20gを煎服する

(桂枝湯や葛根湯などに加味して使うと更に効果的)

●目の炎症、特に涙腺の炎症に乾燥した果実1日3~5個を煎服

【備考】 ●ミツバアケビも同様に使う

●似たものにムベがあるが、果実の形状はムベは丸く、アケビは楕円形である点が異なる(写真㊦)

●漢方薬は木通が使われ、木通子は民間薬として使う

●山菜としても美味しく新芽を塩漬、若葉は胡麻和え・お浸し・蒸して乾燥後に煎って「アケビ茶」にする

【出典】 ●木通 味甘、善く膀胱を治す、癰を消し、腫を致し、能く乳房を通ず。(薬性歌)

【処方例】 ●当帰四逆湯、加味八脈散、通導散、分心気飲など